

The cover features a central image of a hand holding a small green seedling with soil. Above it is a large, stylized globe. To the left, there are several green leaves of various sizes, some appearing to float or fall. The background is a soft, light green gradient with a subtle pattern of leaves and a blue sky with a single tree visible through a circular opening in the globe.

環境報告書
2013

Creation & Harmony



SK-Electronics CO., LTD.

「自然との調和」 *Harmony*

コンテンツ

ごあいさつ	02	社内環境活動	06
環境への取り組み	02	社会貢献活動	07
環境活動の歩み	03	環境保全活動	08
環境管理組織	03	今後の取り組み	08
環境マネジメントへの具体的取り組み	04	会社概要	08

編集方針

この「環境報告書」は、当社が地域社会の一員として環境保護の責任を担い、これまで取り組んでまいりました環境保全活動ならびに社会貢献活動の内容や成果をご紹介しますことで、当社の「環境」に対する考え方を皆様にご理解いただくことを目的に作成いたしました。

ごあいさつ

エスケーエレクトロニクスは「創造と調和」を経営理念としています。「創造」とは常に積極的に新しい価値創造に励み、社会の求めるより良い製品をご提供するという意味です。

「調和」とは、社会との調和、**自然との調和**、そして人との調和を大切にした企業活動により社会的責任を果たすという意味が込められています。

この経営理念に基づき、当社の環境理念である「常に自然の恵みを大切にし、企業活動を通じて環境改善に取り組み、自然との調和を実現します。」を策定いたしました。

地球の限りある資源のもとに事業活動を行う当社は、環境負荷低減や環境保全のために、その事業の成果をもって貢献する責務があり、また環境問題への取り組みは企業価値向上につながる重要な企業活動の一つであると考えています。

今後は、社会の求めるより良い製品をご提供するとともに、地球環境保全や環境負荷低減に貢献し、環境理念である「自然との調和」の実現を目指してまいります。



代表取締役社長

環境への取り組み

当社では、環境経営を実践していくうえで重要なシステムとなる環境マネジメントシステム(ISO14001)を、2002年に京都工場で認証取得し、2005年に本社、2011年には滋賀工場で拡張認証を行いました。

また、環境理念に基づく5つの環境方針を策定し、掲げた環境目標を達成するために環境管理体制を整備して、社員一人ひとりの環境意識向上に取り組んでまいりました。

地域社会とのコミュニケーションも重要な取り組み課題の一つと考え、事業所周辺の身近な地域社会における環境保全活動ならびに社会貢献活動を地域の方々とともに進めております。

今後は、後ほどご紹介申し上げます社会貢献活動や環境保全活動の継続ならびに充実を図り、当社が果たすべき社会的責務に積極的に取り組んでまいります。

経営理念

「創造と調和」

環境理念

常に自然の恵みを大切にし、企業活動を通じて環境改善に取り組み、自然との調和を実現します。

環境方針

1. 地球温暖化防止のため、省資源・省エネルギーに努めます。
2. 汚染を予防し、循環型社会の形成に貢献します。(3Rの実践)
3. 環境教育を実施します。
4. 社会貢献活動を実施します。
5. 環境関連の法律、規制および協定を遵守します。

※3R・・・Reduce(廃棄物の発生抑制)、Reuse(再利用)、Recycle(再資源化)



環境活動の歩み

2001年	10月	株式会社写真化学より分社し、株式会社エスケーエレクトロニクス設立
2002年	9月	京都工場でISO14001認証取得
2005年	5月	本社、京都工場での周辺地域清掃活動スタート
	12月	本社でISO14001拡張認証取得
2006年	8月	本社前の戻橋児童公園へベンチ5脚寄贈 京都市より感謝状授与(2006年9月)
2007年	11月	社会福祉法人への支援活動を開始(京都工場)
2008年	6月	京都工場の所在地である久御山町内の幼稚園に「緑のカーテン」を設置
	8月	京都市、NPO法人、企業のハイブリッド組織で「水源の森づくり」活動に参加
	10月	「水源の森づくり」京北町の合併記念の森にて北山杉の第1回間伐作業に参加
2009年	3月	「水源の森づくり」第2回間伐作業に参加
	5月～10月	京都工場の近隣2カ所の幼稚園に「緑のカーテン」を新たに設置
	7月	第1回京都工場地域環境活動として、「木津川下津屋橋(通称:流れ橋)付近地域清掃」を実施
	11月	第1回本社地域環境活動として、「堀川周辺地域清掃」を実施 発展途上国の子どもたちにワクチンを贈るため、ペットボトルキャップの収集を開始 滋賀工場の敷地の一角に農園を設け、野菜の栽培を開始
2010年	2月	関西盲導犬協会への支援活動を開始
	3月	「水源の森づくり」植樹作業に参加
	5月～10月	京都工場の近隣3ヶ所の幼稚園に「緑のカーテン」を設置
	7月	第2回京都工場地域環境活動として、「木津川下津屋橋(通称:流れ橋)付近地域清掃」を実施
	10月	滋賀工場にて「ひのきが丘企業会」主催の「環境美化の日」清掃活動へ参加
	11月	「水源の森づくり」京都市右京区鳴滝音戸山にて竹林清掃活動に参加 第2回本社地域環境活動として、「堀川周辺地域清掃」を実施
2011年	5月～10月	京都工場近隣の3ヶ所の幼稚園へ「緑のカーテン」を設置
	7月	第3回京都工場地域環境活動として、「木津川下津屋橋(通称:流れ橋)付近地域清掃」を実施
	12月	第3回本社地域環境活動として、「堀川周辺地域清掃」を実施 滋賀工場にて「ひのきが丘企業会」主催の「環境美化の日」清掃活動へ参加
2012年	3月	「合併記念の森 記念式典」と「森づくりパートナーによる植樹」に参加
	4月	第4回京都工場周辺清掃活動として「近鉄大久保駅周辺地域清掃」を実施
	5月～9月	京都工場近隣の3ヶ所の幼稚園へ「緑のカーテン」を設置
	11月	滋賀工場にて「ひのきが丘企業会」主催の「環境美化の日」清掃活動へ参加
2013年	12月	第4回本社地域環境活動として、「堀川周辺地域清掃」を実施
	4月	第5回京都工場周辺清掃活動として、「近鉄大久保駅周辺地域清掃」を実施

環境管理組織

- 当社では、社長を最高責任者として環境保全活動に取り組んでおります。
- 社長の命をうけた環境管理担当役員のもと、環境委員会を設置しています。
- 環境委員会で企画、検討を行った取り組みについて、スムーズに実施するために環境委員会は各職場代表で構成しています。
- 社員は環境委員会のもと、環境保全活動に取り組めます。

環境管理組織図



環境マネジメントへの具体的取り組み

環境目標

環境3ヵ年計画の実績

第1期 (2002年9月期～2004年9月期)

第1期は、CO₂削減と廃棄物削減に取り組みました。CO₂削減(売上原単位※)は、2001年9月期の実績値から20%削減の目標としましたが、2004年9月期には、23%の削減を達成しました。

廃棄物削減については、2001年9月期から40%削減の目標としましたが、3年間で51%の削減をする事が出来ました。

※売上原単位…エネルギーの使用量/売上高

第2期 (2005年9月期～2007年9月期)

第2期の計画は、引き続きCO₂および廃棄物削減に取り組むと共に、水、電力、燃料、排ガス消費の削減を目指しました。

CO₂削減の結果は、2004年9月期の実績に対して15%削減の計画でしたが、新工場建設による設備増加のため、残念ながら2007年9月期には7%増になりました。

しかし廃棄物削減は、2004年9月期から30%削減の目標に対して2007年9月期には90%削減を達成し、大幅な削減となりました。

第3期 (2008年9月期～2010年9月期)

第3期は4つの目標を立てました。まず、グリーン購入率は目標の95%を目前にして達成することができませんでしたが、今後は維持管理を行い購入率の推移に変動が無いよう取り組んでいきます。事務用品購入量は、15%削減の目標に対して大きく上回る数字で目標を達成しました。コピー用紙購入量の削減は目標を達成できなかったため、次の3ヵ年計画では再度目標に掲げて削減を推進する事といたしました。故紙・ダンボール排出量は、目標に対してわずかにオーバーしましたが、今後は維持管理を行い排出量が増加しないよう取り組む事といたしました。

第4期 (2011年9月期～2013年9月期)

第4期は具体的施策による残業時間の削減、電子決裁導入などによるコピー用紙の削減、エネルギー使用量削減の3つの目標を掲げました。残業時間の削減については、会議時間短縮、やり直し作業撲滅、資料の統合、資料廃止検討などを具体的テーマにして削減に臨みました。コピー用紙の削減については、電子決裁導入により、決裁書、見積書、資料などの紙使用が無くなることを見込むなど、削減を進めました。エネルギー使用量削減については、「改正省エネ法」に対する全社的取り組みでもありました。

実績の詳細については、5頁に記載のとおりです。

環境マネジメントへの具体的取り組み

本社

● 具体的施策による残業時間の削減

環境マネジメントの一環として、また経営に直結した目標として、3ヵ年計画で毎年3%（3年で9%削減）の残業時間削減を目標に掲げました。残業削減がもたらす副次的効果としての照明やエアコン、パソコン、コピー機等のOA機器の電力量の削減を見込み、省エネ活動に貢献することを目指してきました。

その結果、1年目に残業が前年度比18%の大幅増加となり、3年間通算での9%削減にいきなり黄信号が灯りました。しかしその後の2年間、各職場で目標に対する意識を徹底し、さまざまな工夫を積み重ねることにより、3年間通算で11%の残業時間を削減し、当初の3ヵ年計画の目標を達成することができました。

● 電子決裁システム導入などによるコピー用紙の削減

事務職場がほとんどの本社で環境に影響を与える要素であるコピー用紙について、3ヵ年計画で毎年2%（3年で6%削減）の購入量の削減を目標に掲げ取り組みました。

従来から両面コピーや縮小コピーの活用、ミスコピーの撲滅と裏紙利用の徹底などの工夫に加えて、3ヵ年計画の2年目に当たる2011年10月から電子決裁システムを導入した効果により、購入量は2年目に大きく削減でき、3年間通算では19%の削減となり、当初の3ヵ年計画の3年で6%の目標を大きくクリアすることができました。

● エネルギー使用削減

エネルギー使用量の削減についても、3ヵ年計画において前年度に対し2%削減（3年で6%削減）の目標を掲げました。具体的施策としては、本社地区でのエネルギー使用に一番大きな影響のある空調の電力削減を目指して、引き続きスーパークールビズ・ウォームビズの取り組みを行いました。昨今の電力事情もあり、節電意識が一層高まったこともあって、空調温度設定やエレベーターの利用制限等以外にも多方面からの活動や残業・コピー用紙の削減活動が功を奏して、3年間通算では14%のエネルギー使用量削減となり、当初の3ヵ年計画の目標を達成することができました。

京都工場

● エネルギー使用量削減

京都工場では、2010年度の実績を基準年とし、3ヵ年計画でエネルギー使用量の毎年2%削減（3年間でトータル6%の削減）を目標に掲げました。

具体的な施策としては、省エネタイプエレベーターへのリニューアルの実施や、ブラインドの増設、スーパークールビズ・ウォームビズの取り組み継続など、電力量削減に努めました。その結果、3年目の本年度はエネルギー使用量（原油換算）3074klで、基準年の3400klに対し、3年間通算で9.56%のエネルギー使用量削減となり、3ヵ年計画の目標を大幅に超えて達成することができました。今後も引き続き、省エネ活動を進めてまいります。

滋賀工場

● エネルギー使用量削減

滋賀工場では2010年10月から3ヵ年計画で、エネルギー使用量基準年度比毎年1%削減の目標を掲げました。

今年度の主な活動としては、昨年夏に引続いての工場屋根への散水、エアコン室外機へのすだれ設置を実施し、また新たに事務所蛍光灯のLED化や自動販売機の省エネ機への変更を実施しました。

その結果、基準年度累積電力量6,404MWhに対し、今年度は6,253MWhと2.4%の削減、原油換算では38klの削減となりました。残念ながら、最終年度の目標である3%削減に対して0.6%及ばず未達成となりました。

社内環境活動

● 環境月間「苗木を育てよう」

6月5日の環境の日にちなみ、6月を環境月間として、全社で苗木を育てる活動を行いました。水やりなど苗木の世話をしてもらうことによって、職場においても緑に親しんでもらい、環境意識を高めてもらうことを目的としています。

事務所には観葉植物の鉢植えを置き、屋外には緑のカーテンも設置しました。また、鉢の一部は廃物を利用して、社員が作製しました。環境月間終了後も各職場で大事に育てる活動が続いています。



本社事務所の観葉植物



京都工場事務所の観葉植物



滋賀工場に設置した緑のカーテン



緑のカーテンのゴーヤの実

● エコキャップ運動

地域・社会貢献活動の一環として2009年12月より「エコキャップ運動」を開始しています。

この運動はペットボトルのキャップを集めてリサイクル業者に売却し、その収益で発展途上国の子どもたちにBCGやポリオワクチンを贈ることで再資源化およびCO₂削減、社会貢献を図るものです。

本社・京都工場・滋賀工場の3拠点で回収ボックスを設置した結果、2012年10月から2013年9月までに集まったエコキャップは12,550個でした。これにより11人分のワクチン購入が可能となり98.8kgのCO₂が削減できました。

今後も社会貢献の一環として継続して取り組んでいきます。

エコキャップがワクチンになるまでの流れ



● DVDを活用した環境教育

2013年8月、社内環境教育の一環としてDVDによる環境教育を本社・京都工場・滋賀工場にて上映いたしました。

今年は、近年相次ぐ異常気象に着目し、地球温暖化防止への意識を高める約20分の環境DVD映像を上映し、3拠点で合計100名を超える多くの社員が視聴いたしました。

今後も社員の環境意識向上を目指して、DVD上映会、講演会などを随時開催していきます。



京都工場でのビデオ上映風景
(2013年8月15、19、21日開催)



滋賀工場でのビデオ上映風景
(2013年8月7、9、13日開催)



本社でのビデオ上映風景(2013年8月2日開催)

社会貢献活動

● 第4回本社地域環境活動「堀川周辺地域清掃」

2012年12月、社員有志により本社ビル西側から南へ二条城までの約1.6km、「せせらぎ街道」周辺の清掃活動を行いました。今回も本社勤務の社員だけでなく、京都工場・滋賀工場勤務の社員や新入社員、社員のお子さんの参加も多く、にぎやかに清掃活動をスタートしました。

前回、片道1時間あまりかかったところを、今回は37kgのゴミを約45分で回収することができました。これは、初めて参加されたお子さんが本当に真剣に、かつ楽しんでたくさんのゴミを回収していたことでもあります。実際に街のゴミが減っている実感もありました。

これからも地域に密着した活動を引き続き行っていきたいと考えています。



本社前での集合写真(44名)



せせらぎ街道



堀川通り東側



堀川通り西側

● 第5回 京都工場地域環境活動「近鉄大久保駅周辺地域清掃」

環境保全活動と地域への貢献を目的に、昨年に引き続き近鉄大久保駅周辺の清掃活動を行いました。寒暖を繰り返し、ようやく春の兆しが見えはじめた2013年4月の上旬、お子さん3名を含む社員とその家族の合計20名が大久保駅に集合し、2グループに分かれて清掃活動を行いました。

清掃を始めた時は肌寒く感じていましたが、時間を追うごとに汗ばむ陽気となり、空き缶やペットボトル、吸い殻や生活ゴミなど、14.7kgのゴミを回収することができました。清掃中にはご近所の方から「ご苦労様」と声をかけていただき、気持ちよく活動を行いました。

今後もこのような地域に密着した活動を行っていく予定です。



大久保駅から南へ



大久保駅から西へ



大久保駅バスターミナル前で記念撮影

環境保全活動

● 太陽光発電システム

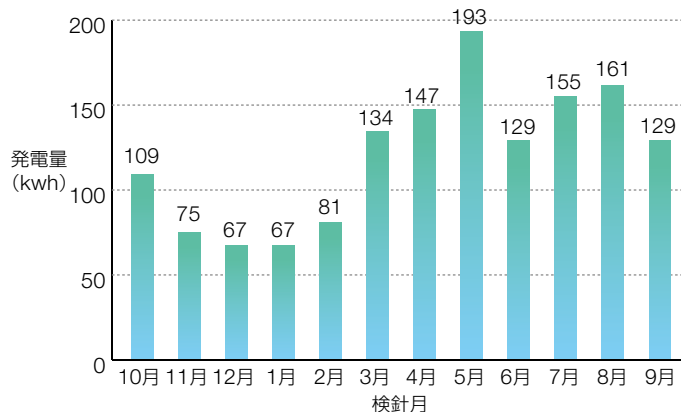
京都工場では、“クリーンエネルギー”である太陽光を利用して太陽光発電システムを導入し、環境保全に貢献しています。今期の発電量は、以下の様になっています。

今期の積算〈2012.10月～2013.9月〉

検針月	月次積算量(kwh)	総積算量(kwh)
10月	109	10,665
11月	75	10,740
12月	67	10,808
1月	67	10,876
2月	81	10,957
3月	134	11,092
4月	147	11,239
5月	193	11,433
6月	129	11,562
7月	155	11,718
8月	161	11,880
9月	129	12,010
合計	1,447	12,010

※総積算量については、2005.1月からの積算量

太陽光発電積算量(kwh) ■ 月次積算量(kwh)



今後の取り組み

当社は、社会が求めるより良い品質で環境に優しい製品を提供するとともに、環境負荷低減や環境保全に貢献し、環境理念である「自然との調和」を実現するために以下の取り組みを実践していきます。

①環境マネジメントの実践

具体的な取り組みとして、これまで実践してきた「環境教育」を今後も継続的かつ積極的に実践し、社員の更なる環境意識の向上を図ってまいります。2013年10月からは、「新・環境3カ年計画」がスタートし、新たな目標を設定して目的や効果を十分に理解しながら達成に向けて取り組んでまいります。

②社会貢献活動の実践

毎年定期的に行っている本社・工場周辺の清掃活動は9年目を迎えました。また、本社近辺での“堀川清掃活動”や京都工場に訪れるときに利用する”近鉄大久保駅“周辺の清掃活動、そして滋賀工場では、所属する企業会でのテクノパーク内の清掃活動にも参画しております。全社で行なっている「エコキャップ運動」、「関西盲導犬協会への支援活動」も継続していきます。

地域社会の皆様とコミュニケーションを図りながら、新たな社会貢献活動への参加や、ご要望をいただいている取り組みに積極的にお応えしてまいります。

③環境保全活動の実践

「水源の森づくり」では、社員の環境教育の場として、北山杉の人工林の現状を見て、今まさに必要とされている間伐作業を行ってきました。また、その次の展開として、行政、NPO、企業が一体となった放置竹林の間伐作業にも参画してまいりました。地球温暖化防止につながる取り組みについては、今後も積極的に参加し、環境理念の実現に取り組んでまいります。

会社概要

社名	株式会社 エスケーエレクトロニクス	SK-Electronics CO., LTD.
設立	2001年10月1日	
本社住所	〒602-0955 京都市上京区東堀川通り一条上ル豊富田町436番地の2	
事業内容	大型フォトマスク製造販売	
資本金	4,109,722 千円	
従業員数	266名(2013年9月30日現在)	



株式会社 **エスケーエレクトロニクス**
www.sk-el.co.jp

本 社 / 〒602-0955 京都市上京区東堀川通り一条上ル堅富田町436番地の2
TEL.(075)441-2333(代) FAX.(075)441-4291

東 京 営 業 所 / 〒105-0004 東京都港区新橋5丁目19番15号 アド・タイヘイビル6階
TEL.(03)5425-6061(代) FAX.(03)5425-6062

京 都 工 場 / 〒613-0035 京都府久世郡久御山町下津屋富ノ城62番地1
TEL.(0774)44-2921(代) FAX.(0774)48-2163

滋 賀 工 場 / 〒528-0068 滋賀県甲賀市水口町ひのきが丘38番
TEL.(0748)65-1390(代) FAX.(0748)65-1391

